

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 秋田市檜山川口境 1 8 番 1 2 号

名称 株式会社石川建設

代表者 石川 忠則

株式会社石川建設

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

【感謝の気持ちを形に】

～ 4 つの恩返し～

創業以来、50余年の間、事業が継続できたことは、当社に関わって頂いたすべての方々のおかげに他なりません。

ここで、改めて、関わり頂いた『方々・環境』に感謝と敬意を表し、SDGs宣言を致します。

私たちは、過去に頂いた【恩】を如何にしてお返ししていこうかと考えてきました。

それは、一過性のものではなく、継続性のある【恩返し】でなければならないと考えました。

そこで、以下に掲げる取組をもって社会貢献活動を続けたいと考えます。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 <small>(※初回記入不要。1年ごとに要報告)</small> 初回登録年月日：R4年12月16日	関連する主な SDGsゴール (最大3つ)
☑経済 ☑社会 □環境	これまで、当社の繁栄のため尽力して頂いた社員が、これからも、意欲を持って働ける環境づくりを整備いたします。	<ul style="list-style-type: none"> ●個々の事情にあった職務・給与体系の見直し ●健康への意識の向上 ●福利厚生 of 充実 ●定年制の見直しによる労働機会の増幅 	定年後の雇用形態を見直し、継続雇用できるような環境を整える。 (2022～2023)	3 8 10
□経済 ☑社会 ☑環境	業種柄、資材・材料を多量に使用しています。しかし、多様な形状・規模等で多くのロスが発生させていました。これからは、独自の創意・工夫で産廃【0】を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ●再生可能な資材の選定 ●発生ゴミの細分化による量の削減 ●羽柄材の再利用の検討 	極力、残材を出さないよう発注等から気をつける。 (2022～2023)	11 12 15
☑経済 ☑社会 □環境	これから先の事業の継続を考え、子供や若者への支援に対し、積極的に参加するように努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●各教育機関・福祉施設への支援 ●各種ボランティアへの従業員の参加 ●シニア団体との交流 	養護施設への支援を継続していく。 (2022～2023)	1 16 17

ゴール 番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール 番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさも守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	